

。屈曲勾配の緩和幅員の擴張と路面の鋪装とは著しく交通量の増加を來したるも改良前に於ける交

通事故は交通量の増大に反比例して防止されつゝ、あり。
(次號完結)

關門放送 (二)

淺香生

關門國道調査の狀況

現代に於ける世界唯一の海底道路隧道を敢行せんとする大事業であり、我が國重要國策の一つである關門國道の調査は、其の後は文字通りの順風に帆を掛けた勢ひで、着々と豫定計畫を辿つて居る。

顧みれば、昨年五月に調査事務所が開設せられて輝やかしい調査陣が張られ、直ちに陸上試錐に着手し他面、東京、京都、九州の各大學から權威者を顧問に迎へる等、眼まぐるしい陣容と準備工事とを整へたのであつた。

引續き七月末に下關側、八月には門司側の何れも内徑五米の堅坑工事に着手したのであるが、大した湧水もなく、また別段の障害にも遭遇せずして一月末には門司側が完成し、下關側は二月二十日頃に完了する豫定である。一面には路線測量や眞の海底深度をも測定せねばならないし、其の地層をも究明探查せねばならぬので、豆潜水艇に乗つて龍宮を脅かしたり、潜水夫を使役したり、海底照明や海底寫眞をも撮影したりして居る。

或はまた地質學者を招聘して地上からの詳細な觀測を逐げたりして、各種の角度から千古の謎を解かんと努め

て居る。

また本年一月早々から陸地測量部に依頼して、地塊運動の調査に着手して貰つて居る。これは今年の五、六月頃迄には完成の豫定である。大部分の諸機械も納入済や契約中で今の處では萬事萬端遺漏なしといふ所である。

海底撮影の結果は、平家の鐵胄や源氏の日本刀は見當らなかつたが、轉石の所在や、岩盤の模様に対して達觀的に徐々に神秘の扉が開かれるらしい。

あらゆる智腦の提供と激勵とは、調査隊員をして一層の感謝と緊張とを覚えしめる。手近な所では、調査地域は總て第一種の要塞地帯であるが、常に陸軍當局の支持と好意ある配慮とに依つて何等の遲滯もない。

今試みに調査事務所備付けの日記帳から事務所開設以來の來訪者を拾つて見る。

來訪者名調

五月十四日 松井下關市長、佐賀藤原田技師
廿六日 陸軍省鎌田中佐

- | | |
|-------|------------------------------|
| 廿九日 | 下關要塞司令部宮川參謀、伊藤元北海道廳技師 |
| 六月二日 | 内務省土木試驗所高田技師 |
| 廿九日 | 後藤門司市長、渡邊憲兵隊長 |
| 七月八日 | 下關警察署長 |
| 十二日 | 内務省土木試驗所青木技師 |
| 八月五日 | 土木局大石技師 |
| 九日 | 土木局鈴木技師 |
| 十日 | 佐藤土木局第二技術課長、坂本福岡縣土木部長
外課長 |
| 九月一日 | 吉田九大、瀧山京大、山口東大、各教授 |
| 三十日 | 土木局金子技師 |
| 十月九日 | 北九州機械學會々員、奥村九大教授外二〇名 |
| 十一月四日 | 東京、大阪、下關各鐵道改良事務所長外所員 |
| 十日 | 田邊京大名譽教授 |
| 廿七日 | 木津前橫濱土木出張所長、内林下關漁港事務所
長 |
| 三十日 | 東京土木出張所岩澤技師 |
| 十二月一日 | 谷口東京土木出張所長、土木局宮本技師 |
| 四日 | 參謀本部下田三角科長 |
| 五日 | 近藤京大教授、加納鐵道技師 |
| 七日 | 鐵道省三好技師 |
| 十日 | 三島仙臺土木出張所技師、成瀬日大教授 |
| 十一日 | 加藤吳鎮守府司令長官一行 |
| 廿五日 | 土木局橋本事務官 |

〃 廿八日 東京土木出張所小澤技師、金子技師

一月八日 安藤土木局長、近藤、安田事務官一行

〃 十一日 大阪出張所和氣、小野(道人)、工藤各技師

〃 十二日 參謀本部川名測量師

〃 廿一日 阪本元大阪土木出張所長

二月二日 横濱土木出張所蒲工務部長、黒田技師

〃 四日 陸軍省今井中佐

斯くて舊進を續けた調査隊は、愈々二月一日には門司側から待望の内徑約三米の坑導の掘鑿に着手して最早や十五米を進めて居る。又下關側からも二月二十日から着手する段取りとなつて居る。そして遅くも十四年度豫算編成期たる本年八月頃迄には終了して、本格的工事費の見透しを得たいと張切つて居る。

地上は今昔なく無心に悠久の流れを續けて居る急潮八呎の壇ノ浦である。膺懲支那の聖戰に向つた艦船や將兵の大部分も此處を通航したであらうし、平和な經濟活動船も間斷なく其の使命を達して居るであらう。其の下ノ海底下には今や現代科學の精銳が磐石の備へを以て戰を挑で居る。斷層や龜裂湧水や如何。乙姫様も微笑まされ給ふであらう。

砂利道の被害と燃料節約

砂利道が、鋪裝道路に比して交通者自身にも、沿道にも夥しい被害を及ぼして居ることは喋々の要がない。交通者自身就中主として自動車交通に付て見ても、其の直接費たるガソリン消費量や輪帶費や車輛費等に付いて著しい被害語弊があるかも知れぬが、少くとも受損がある。現在經驗上の公定に依ると是等三者のみでも、一車一杆に付鋪裝道路に比して砂利道は、一錢五厘の損をして居る。假りに一車が一ケ年に一萬杆を走るとせば百五十圓全國の自動車數を十二萬臺とするときは千八百萬圓の損失と云ふ譯である。

其の他時間の節約や、輸送能力の限度等をも考慮に入れるときは、砂利道を鋪裝道路に換へることの重要な緊急性があることは稚兒にも判る筈である。

自動車が砂利道走行に因る沿道農作物の被害に付ては本誌第十九卷第九號に於て、栃木縣の詳細な實驗記が紹介されて居つたが、欲を云へば金錢的の評價が出て居らなかつ

たので、稍々物足りない様に感じられた。が少くとも莫大な損害を蒙つて居ることは充分察しられる。

眞刻に我々が一寸車中から振り向いて見ても、黄塵萬丈單に農作物のみならず沿道の中小商家の店頭や、住宅地の緑樹帯が隣り間に白雪、匡々の趣きを呈するし雨天の際は泥濘膝を没する程でもなからうが、焼夷弾が炸裂するかの具合である。篋筒の中の黒紋付が何日の間にか白衣に化けたリシヨウウインドの硝子が、罪なき店員を泣かしたりすることは朝飯前である。斯くて快適どころか嘔吐を催す位だ。

夫れ丈け沿道居住者や歩行者の衛生に有害であることも充分に會得されやう。一つ厚生省邊りで開省劈頭の政策として、「砂利道の人體に及ぼす影響と國民體位の向上に就て」位の所を研究して欲しいものである。

曩日政府に於ては銃後の消費節約の一助として、石油及び石炭の消費に付いて厳しいお達しがあつたらしい。圓タクの流しを禁じたり、閑散な路線の定期自動車を廢したりガソリンカーを廢止したり、支線の運轉回數を減じたりす

ることも固より大切であらう。しかし是等は戰時に慌てゝやるべきではなく、寧ろ平時に於て既に實行して居らねばならなかつた筋合ではないか。尤も今からでも遅くないことは勿論である。

石油の九割を國外に仰いで居ると云はれて居る現状に於ては其の對策の要諦は此の如く消極的節約政策のみに止めずして、積極的な根本策を攻究するの要があるであらう。夫れにはいつそのこと、全國津々浦々の道路を一瀝に鋪裝して終ふ方が何よりも其の趣旨に合致し、一石二鳥を得るのではなからうか。尠くとも國、府縣道位はピカ／＼にして欲しいものである。長期戦を覺悟し、徹底的膺懲の外なしとするならば、石油永久の方策として尙更ら餘計にこの事を痛感する。

成る程自動車燃料の節約の一方法として、ガソリンの代りに、薪炭を用ふれば、燃料費は半額で濟むらしいことは良く判る。ツマリ現在の構造では一車一籽に要するガソリン代は三錢だが、之を薪炭に代ふることに依つて一錢五厘

となるのであるが、しかしこの方法を採るが爲には、車輛の構造替をやらねばならぬ。此の費用が一車に付いて六百圓乃至七百五十圓を要するに鑑みるときは、假りに之を六百圓均一としても、十二萬臺では七千二百萬圓を要する。此の巨額の金を一時に掛けて、やつと砂利道を舗装道に代へたときの自動車の直接費の利益と同額である。

固より燃料國策の見地からも此の方法は誠に結構なことには違ひないが、是れ丈けでは、尙自動車の機能を發揮するに忘るべからざる、所要時間の短縮や、輸送能力の増加や、沿道の莫大なる被害に對する問題が明かに残存するし、其の他砂利道の修繕費をも斟酌するの要があるのである。故に私は眞に國家の燃料政策を達成せんとするならば、同時に道路舗装計畫の確立を併用して其の効果を最高濃度に發揮するに在ると信じるものである。

然らば其の舗装計畫は如何と言ふ論者も在るであらうが私は直言する。即ち自動車の砂利道と舗装道路との直接費の差額、即ち舗装道路に依る利益である所の、前述の年額

千八百萬圓を以て最少限度の毎年の舗装費の財源と爲され度いと萬人に應へるであらう。

斯くして初めて根強い、伸びる銃後の燃料政策が、眞に意義ある効果を擧げ、それを同時に産業振興の鐘が高鳴るのである。眞剣に考へて頂き度いと思ふ。

國民精神線動員運動

舊臘私は土木局の橋本事務官を東道して九州を一巡した折に、宮崎縣下で思ひ掛けず美しくも敬い二つの國民精神總動員運動の實踐を見聞したので、敢て御紹介を申上げたいと思ふ。

其の一つは、縣廳の城戸君から聞いた話であるが、同縣西諸縣郡小林町に於ては、町長首唱の下に客年十一月中に臨時に八日間に互つて、道路の修理作業を行つたのであるが、之に参加した人々は各日とも早朝から夕刻迄熱心に、老いも若きもホントに涙ぐましい、夫れこそ主催者も町長も面喰ふ程の精勵であつた。参加者は毎戸一人で、其の延

人員は一般町民約一萬人と、學校生徒兒童六千餘人であつて、トラック四臺と、乗用車二臺とを以て、砂利五百四十立米を附近の河川から採取し、所轄土木管區員の指導の下に整然たる作業を行つた。其の結果府縣道三十六籽、町村道五十九籽が新粧せられたのであつた。

事實は單に之れだけであり、また其の動機は町長が町民の協同心の程度を試練した一手段であると稱するのであるが、これこそ眞に政府の國民精神總動員の首唱に即應した處の、銃後に於ける國民精神發揚に資する自治團體自らの糾合であり、相川現知事が昨夏赴任以來九十萬縣民に對し、其の福利増進の一助として、熱心に提唱して居られる「勤勞倍加運動」の政策を窺行した顯れである。

由來小林町は日向米の産地に接し、また附近には杉の美林に富み、之等は此の地より各地に輸送せられ、本郡に於ける商工業殷盛の主邑であつて、所謂經濟都市に屬し、實な精神運動等には、凡そ懸け離れた土地柄かに見られて居つたのであつたが、一度此の發案あるや全町民渾然一體

となつたのである。これは義理やお附合では出来るものではなからう。燃ゆる誠意の發露であり、さすが神國の人として、敬服に堪えない。

其の二は、沖水川の改修工事を視察した際に目撃したのであるが、縣立都城中學校生徒が、上衣を抜き棄ての勤勞振りである。夫れは全校生徒八百名と擔任の先生達を動員して、軍事教練としての一態様として、本川を利用して壘壕構築の演習である。此のことの詳細に付ては、何れ河川愛護運動の立場からの觀察記として、他の誌上に詳述されることと思ふから、茲には觀た儘の概要を申上げる。

先づ比較的高學年らしいのが、シャベルを持つて盛んに護岸の床掘りをやつて居る。固より夫れは改修計畫の法線に依つてやつて居ることは勿論である。また中學年らしいのは、示された規格に依る玉石を採取して勇しく運搬して居るかと思ふと、一方では根固め用の松丸太の皮むきを勢ひよくやつて居る。漸次下流に行くと、低學年らしいのが林檎の様な頬に寒風を受けながら、堤防法腹の石垣の目地

にコンクリートを一齊に詰込んで居るのや、其のまた跡を帚で綺麗に掃いて居るのがある。そして其の後から本物の土工さんが検分して居る。少し離れた處では、本職がコンクリートを練つて居る。それを待ち切れんと云ふ風に、之を運ぶ竹筒を持つたのが目白押しをして居る。

之等の作業場の間を縣の監督さんが、彼方からも此方からも、先生々々と呼ばれながら、また時には呼びながら駆け廻つて居る。誠に床しい和やかな情景である。斯くて、荒蕪の極にある本河川は、幾多の輝やかなしい記録と、清流とを豊穰な都城盆地に留むるのである。

聽けば當日は作業の初日の爲の總括的訓練として、全校生徒の出場を見たのであるが、翌日から引續き十日間に互り毎日大體百名位の見當だとのこと。此の直接の目的は右の如く軍事教練としてであるが、其の得たる報酬は總て國防獻金として奉納せらるゝ由であり、此の結果としては、協力一致の美風を涵養し、團體行動の統制、勤勞精神の發揚等幾多の活教訓を齎らし、また河川管理者側からは、輓

近稍々ともすれば一般に勞働力減退の折柄之を補填する一助ともなるべくして、大變喜ばれて居る。之等は到底私の禿筆には盡せないが端的に云へば、銃後の舉國一致を具體化し、國家總動員を實質的に高度化したものである。

以上は偶然の機會から得た、得難い見聞記に過ぎない。恐らく同縣には此の他にも各地に床しい實踐があるであらうし、固より全國にも豊富な實行運動の例があるであらう。たゞ何れの都市、何れの村落に於ても、日常國民生活と最も緊密不可缺な道路、河川の愛護運動に着眼せられた特異性に對し、茲に銘記して敬意を表すると共に、滿天下の精神運動は其の實行を擧げて道路の愛護作業、河川の保全に具體化されんことを期待して止まない次第である。

因に此の稿を終つてから、幾何もなくして宮崎縣には、「祖國振興隊」なるものが誕生して、全縣下を擧げて、道路の修繕や、用悪水路の改修等は固より、あらゆる公共事業の施行を眼目として勇しく活動しつゝあることを耳にしたのであるが、何れ詳細を御紹介申上ぐるであらう。